

富山高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	環日本海諸国語ⅠA(ロシア語)	
科目基礎情報							
科目番号	0026		科目区分	一般 / 選択			
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	国際ビジネス学科		対象学年	1			
開設期	前期		週時間数	2			
教科書/教材	"ПОЕХАЛИ!" ("Let's go!") 1-1、その他、別途指示する						
担当教員	山本 有希						
到達目標							
(1)アルファベットの読み書きを修得する (2)名詞等の性数変化の概念、動詞人称変化を理解する (3)単位認定には50点以上を必要とする							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安(優)		標準的な到達レベルの目安(良)		未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1	名詞の性別、格変化の概念及び動詞の活用が8割以上理解できる。		名詞の性別、格変化の概念及び動詞の活用が6割以上理解できる。		名詞の性別、格変化の概念及び動詞の活用における理解度が6割に達しない。		
評価項目2	上記文法事項を活用した作文及び文章読解がスムーズにできる。		上記文法事項を活用した作文及び文章読解ができる。		上記文法事項を活用した作文及び文章読解が満足にできない。		
評価項目3	ペアワークやグループワークにおいて、積極的に表現を考え、発表することが良くなる。		ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができる。		ペアワークやグループワークで協力して表現を考え、発表することができない。		
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー 3							
教育方法等							
概要	【授業の目標と概要】 (目標) ロシア語の音読や会話を中心に、広くロシア社会・文化等への関心を養う。 (概要) ロシア文字の発音、名詞・形容詞等の性数変化、動詞の現在人称変化を用いた表現を修得する						
授業の進め方・方法	教員単独による講義と演習 事前に行う準備学習：講義の復習および予習を行ってから授業に臨むこと。 授業外学習・事前：授業内容を予習しておくこと。 授業外学習・事後：授業内容を復習すること。						
注意点	(授業改善策) 学生の理解度を確認しながら授業を進めるよう努める。 評価が50点に満たない者は、願い出により追認試験を受験することができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にとっては、その評価を50点とする。 (備考) 1)遅刻3回で欠課1時間とする 2)授業計画は、学生の理解度に応じて変更することがある 3)定期試験 (中間試験及び期末試験)を70点、その他(発表、課題、小テストなど)を30点として評価する						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	1)ガイダンス 2)オリエンテーション		環日本海諸国語についての概説(1)		
		2週	オリエンテーション		環日本海諸国語についての概説(2)		
		3週	オリエンテーション		環日本海諸国語についての概説(3)		
		4週	オリエンテーション		環日本海諸国語についての概説(4)		
		5週	オリエンテーション		環日本海諸国語についての概説(5)		
		6週	第1、2、12課		アルファベットの発音を学び、挨拶表現ができる		
		7週	第3課		場所を尋ねる表現ができる。 人称代名詞を用いた表現ができる		
		8週	第4課		動詞第1人称変化を覚え、「～している、～する」という動作を表現できる		
	2ndQ	9週	第4課		動詞第1人称変化を覚え、「～している、～する」という動作を表現できる		
		10週	中間試験		中間試験は実施しない		
		11週	第5課		動詞第2人称変化を覚え、特に「～語で話す」と話すことができる		
		12週	第5課		動詞第2人称変化を覚え、特に「～語で話す」と話すことができる		
		13週	第6、7、9課		人称代名詞の対格を用いて、自己紹介や「～が好き」といった表現をする子ができる		
		14週	第8、10課		名詞の複数形を学び、所有代名詞の性別と数の概念を理解し、表現できる		
		15週	期末試験		既習事項を確認する		
		16週	成績確認		1)試験返却・解説及び成績確認 2)夏休みの課題の確認		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	0	30	100
基礎的能力	70	0	0	0	0	30	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0